

環境クリエイター TakasaGo!

 高砂熱学



東証プライム：1969

2024年8月6日

2024年度 第1四半期 決算説明資料

高砂熱学工業株式会社

目次

1. 2024年度 第1四半期 連結決算概要
 2. 2024年度 連結業績予想・株主還元
 3. 中期経営計画2026の進捗、高砂熱学のサステナビリティの取り組み
- Appendix. 資料集

1.2024年度 第1四半期 連結決算概要

環境クリエイター® TakasaGo!

 高砂熱学

2024年度 第1四半期 連結業績サマリー

1 Q時点での売上総利益、売上総利益率は、前年同期比で改善し、過去最高を更新

受注高は、豊富な情報量のもと前年同期比 + 13.8%。繰越高は、過去最高を更新

(単位：百万、%)	2023年度1Q	2024年度1Q		
	実績	実績	増減	増減率
売上高	78,246	70,415	▲7,831	▲10.0
売上総利益 (売上総利益率)	9,726 (12.4)	10,103 (14.3)	+377 (+1.9)	+3.9 -
営業利益 (営業利益率)	2,319 (3.0)	1,897 (2.7)	▲422 (▲0.3)	▲18.2 -
経常利益 (経常利益率)	3,114 (4.0)	2,910 (4.1)	▲204 (+0.1)	▲6.6 -
四半期純利益 (四半期純利益率)	1,972 (2.5)	2,027 (2.9)	+55 (+0.4)	+2.8 -
受注高	88,363	100,574	+12,210	+13.8
繰越高	312,947	371,114	+58,166	+18.6

◆売上高：

前年同期は、産業設備分野での大型工場の新築工事において、出来高進捗の集中があったため、反動減等により減収

◆売上総利益率・営業利益：

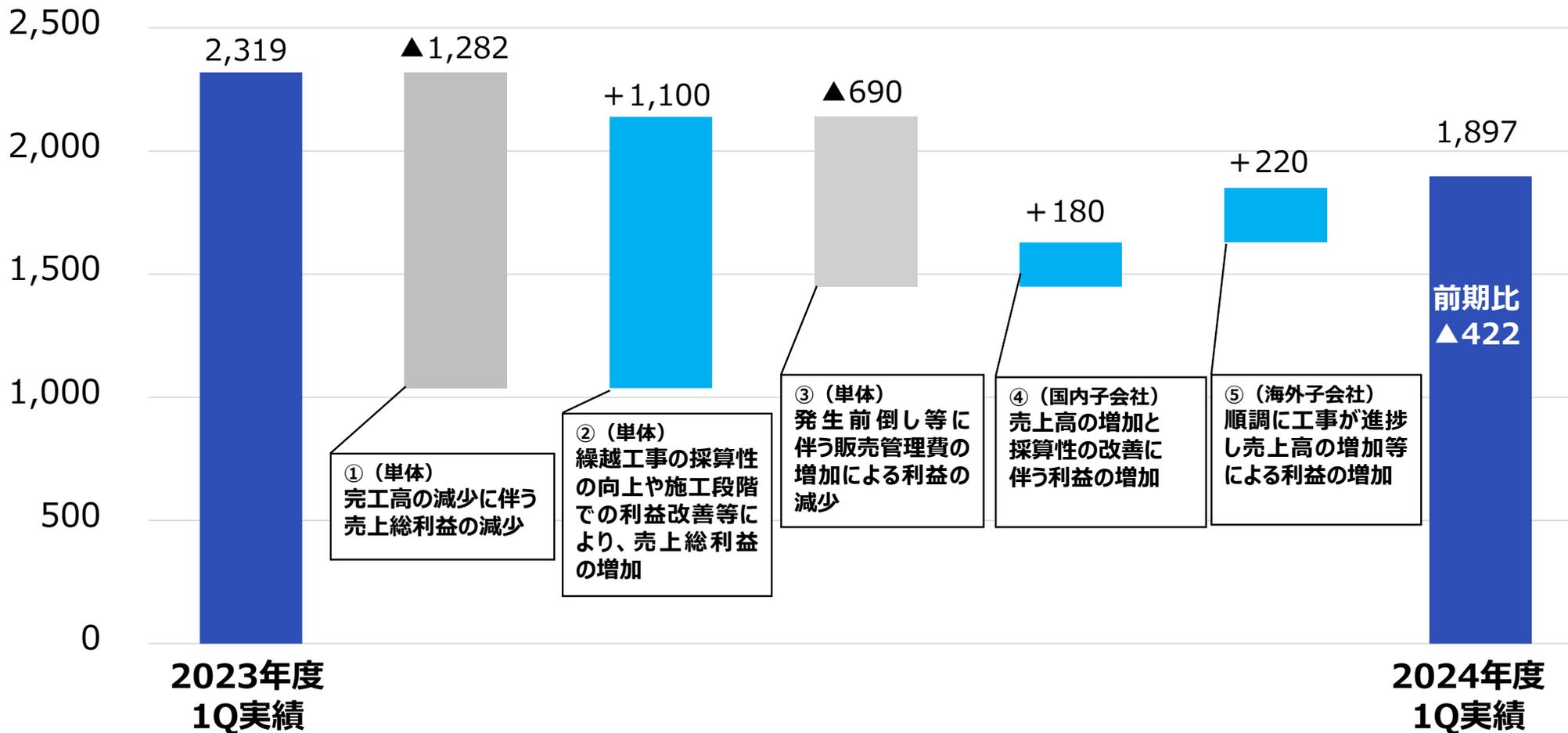
売上総利益率は、前年同期比で採算改善が進んだ一方で、成長に向けた投資実行に伴う販管費の増加により、前年同期比で減益

◆受注高：

施工体制を勘案しながら、国内外における旺盛な建設需要に対応するため、柔軟な施工配員体制を構築し、計画的な受注活動を展開

連結営業利益の主な増減要因（前年同期比）

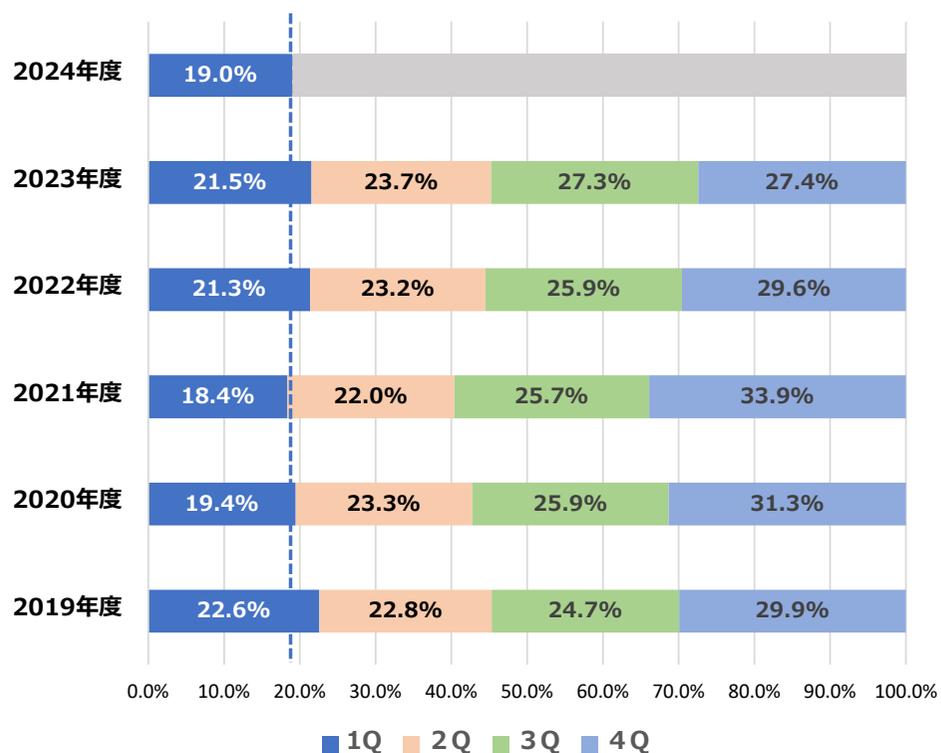
（単位：百万円）



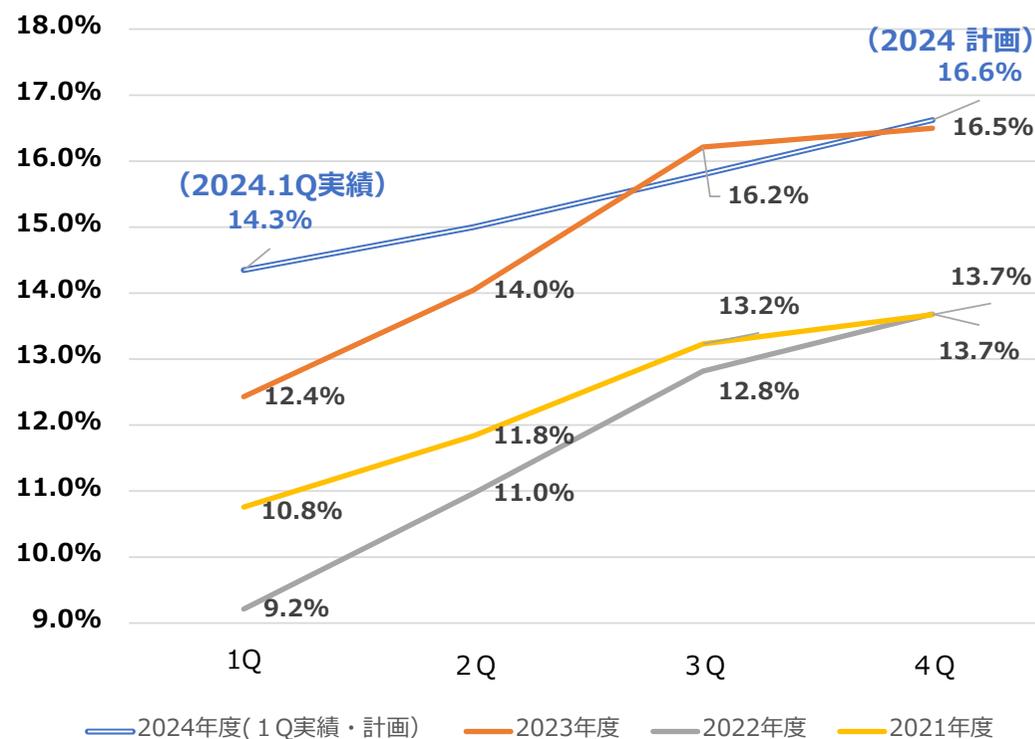
注釈：連結調整による、営業利益+50除く

(補足資料) 連結：四半期毎の売上進捗率と売上総利益率の推移

四半期毎の売上高進捗率



四半期毎の売上総利益率推移
(過去3カ年推移と2024年度1Q実績と計画)

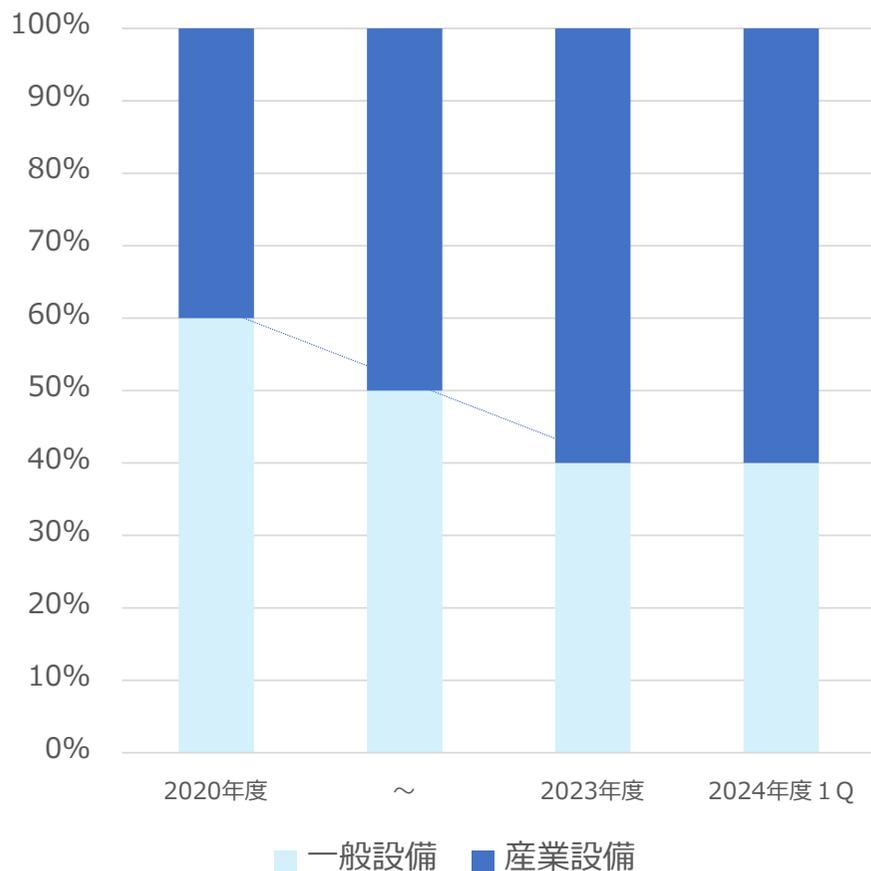


2024年度1Qは、産業設備分野における大型新築工事の端境期にあり、前年度同期、前々年同期の進捗と比べ、およそ△2.5%
2024年度連結業績予想は、2Q以降の工事進捗を見通している。

- ・2024年度1Qは、過去3ヶ年の同期比での売上総利益率を上回る。
- ・過去各年度とも、年度中に売上総利益率は伸長

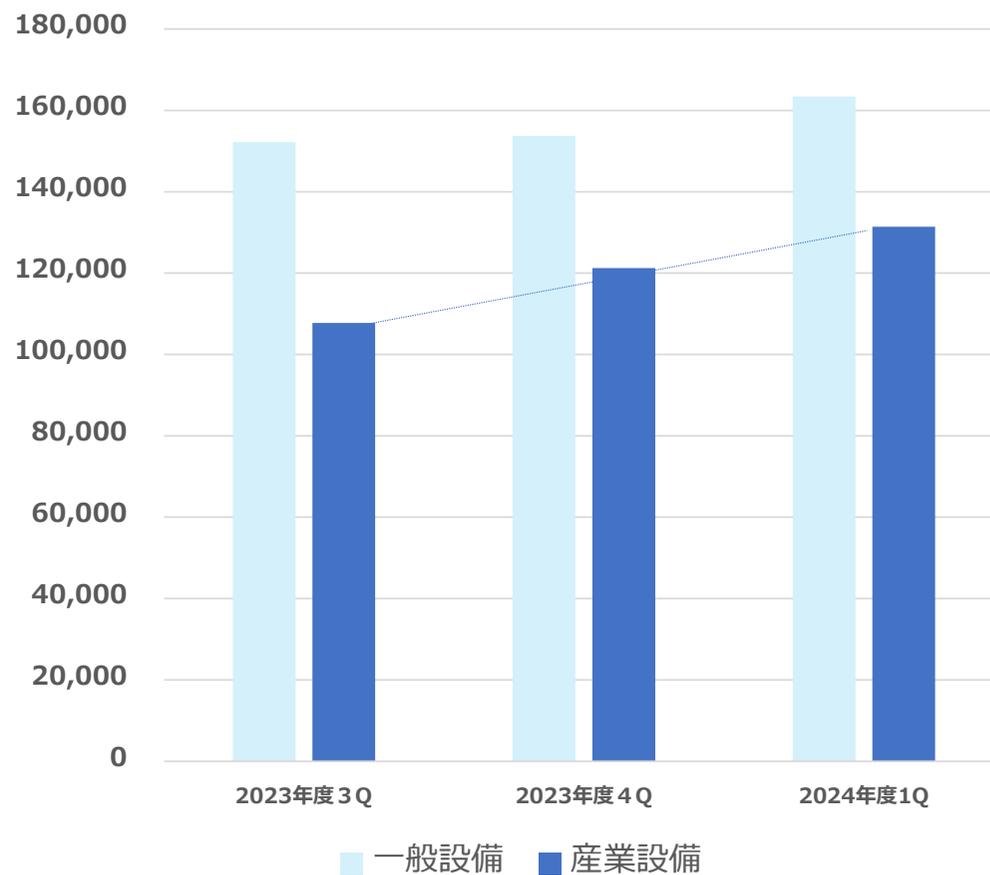
(補足資料) 単体：セグメント別の売上総利益構成の推移と繰越工事高

一般・産業別の売上総利益に占める割合



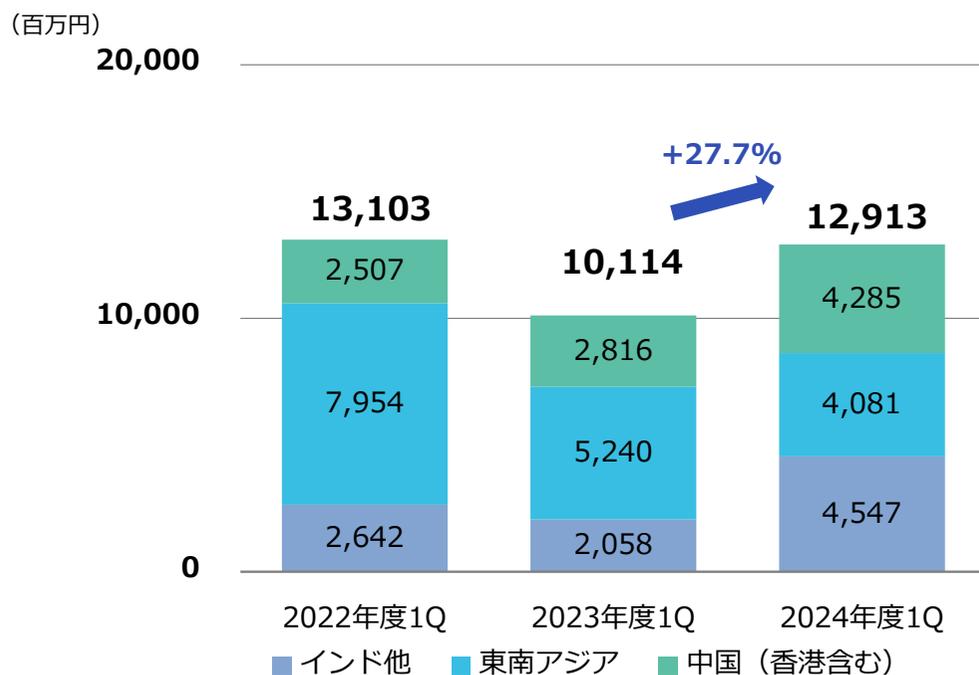
(単位：百万円)

単体：一般・産業別の繰越工事高

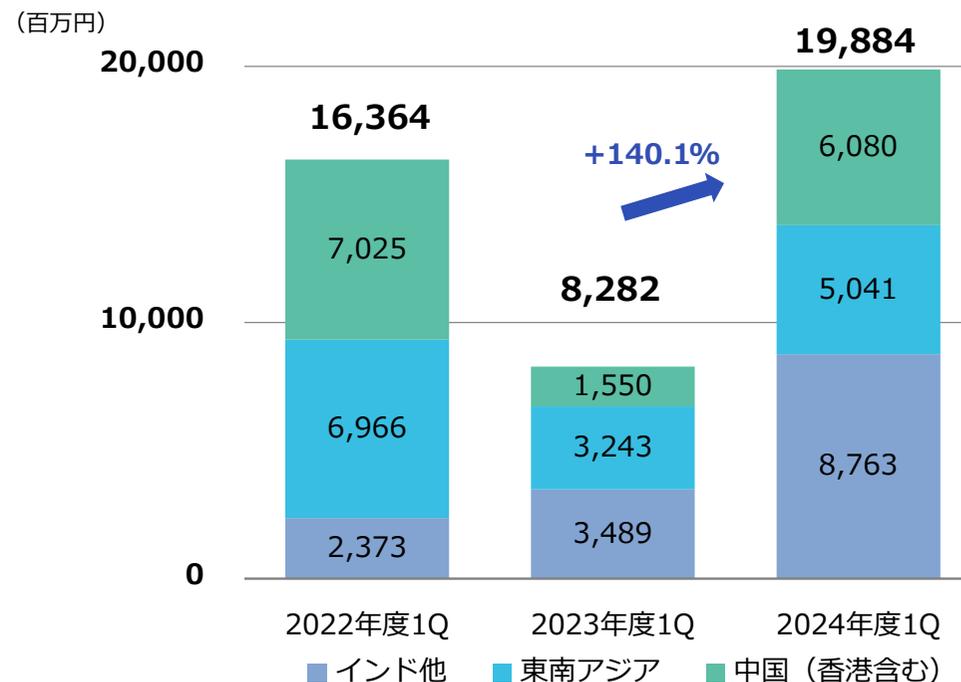


(補足資料) 国際事業の状況 – 地域別内訳

売上高推移



受注高推移



2024年度1Q概況

完工：大型の繰越工事の順調な進捗等により、前年同期比+27.7%

受注：産業系を中心に豊富な情報量を有しており、前年同期比+140.1%

(注) 受注高、売上高のセグメント間取引については、調整前。

バランスシート (前年度末比)

(単位：百万円)	2024年 3月末	2024年 6月末	増減
流動資産	248,386	197,585	▲50,801
現金・預金等	53,298	41,240	▲12,058
売上債権等	185,890	143,243	▲42,647
その他	9,198	13,102	+3,904
固定資産	32,656	33,016	+360
投資その他資産	59,063	58,093	▲970
総資産	340,106	288,696	▲51,410

主な増減内訳

- ◆**流動資産**：大型の工事代金入金に伴う売上債権等の減少 など
- ◆**流動負債**：支払手形・工事未払金等の減少 など
- ◆**自己資本**：期末配当金（61.2億）支払いに伴う利益剰余金の減少 など

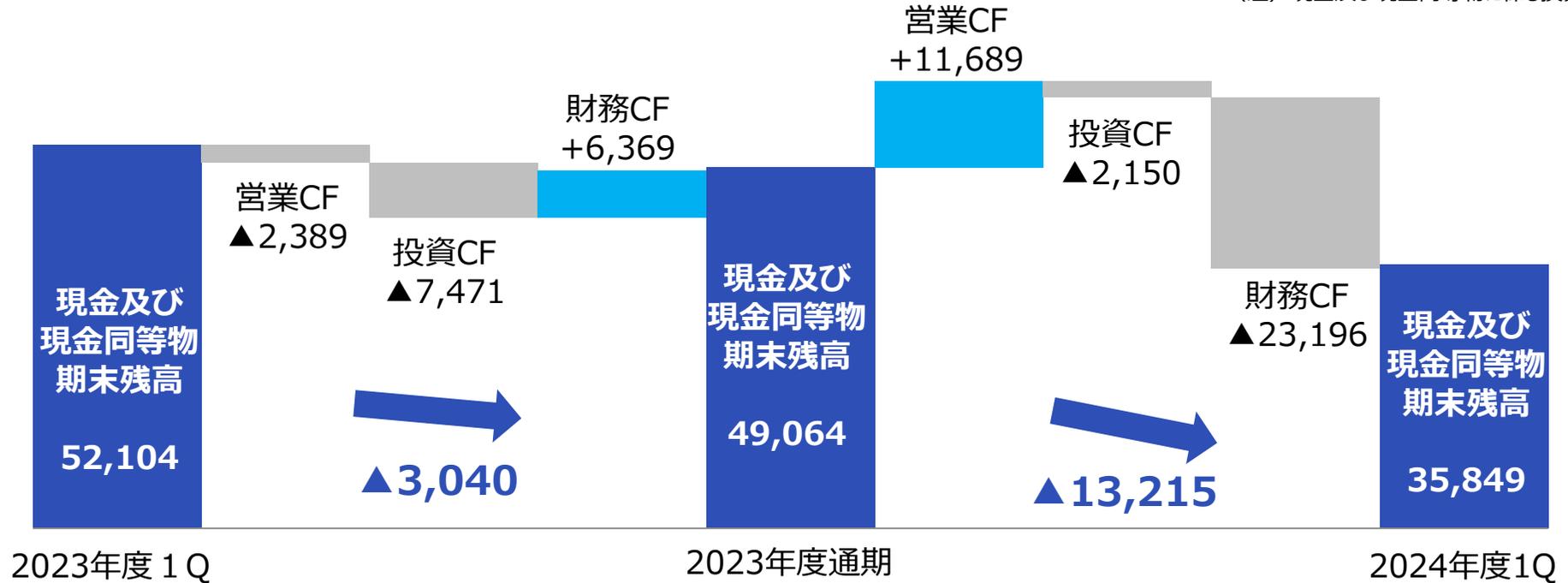
(単位：百万円)	2024年 3月末	2024年 6月末	増減
流動負債	146,750	99,305	▲47,445
仕入債務等	77,279	58,207	▲19,072
工事損失引当金	404	573	+169
短期借入金	14,133	2,205	▲11,928
未成工事受入金	12,593	13,631	+1,038
その他	42,341	24,689	▲17,652
固定負債	26,125	25,714	▲411
社債	20,000	20,000	0
その他	6,123	5,712	▲411
純資産	167,231	163,676	▲3,555
負債・純資産	340,106	288,696	▲51,410
自己資本	164,355	160,503	▲3,852
自己資本比率	48.3%	55.6%	+7.3pt

キャッシュ・フロー

現金及び現金同等物期末残高の推移

(単位：百万円)

(注) 現金及び現金同等物に係る換算差額除く



- ◆ 営業CF: 売上債権の減少が仕入債務の減少を上回ったこと等により、+11,689百万円
- ◆ 投資CF: 定期預金の預入等により、▲2,150百万円
- ◆ 財務CF: 短期借入金の減少や配当金の支払等により、▲23,196百万円

2. 2024年度 連結業績予想・株主還元

環境クリエイター® TakasaGo!

 高砂熱学

2024年度 連結業績予想

- ◆ 豊富な繰越高における大型工場ならびに再開発案件の順調な工事進捗をベースに、様々な建物用途における施工力の向上ならびに技術研鑽も図り、**前期比増収・増益の計画**。
- ◆ 受注段階における最適ポートフォリオ形成や生産性向上に資する施策を通じ、**建設事業の収益力強化とともに、働き方改革の実現に向けて取り組みを進める**。また、カーボンニュートラル事業、DXの推進、ならびに競争力の源泉となる人的資本への投資を強化。
- ◆ 資機材の納期遅延や価格動向、ならびに現場工程遅延等のリスクに対し、本社のモニタリングを通じて、情報の早期收拾による対策、サプライチェーンとの連携による対応、施工のオフサイト化などを活用し影響回避に努める。

(単位：百万円、%)	2022年度		2023年度		2024年度		
	実績	実績	前期比増減	増減率	予想	前期比増減	増減率
売上高	338,831	363,366	+24,536	+7.2	370,000	+6,634	+1.8
売上総利益 (売上総利益率)	46,363 (13.7)	59,947 (16.5)	+13,584 (+2.8)	+29.3 -	61,500 (16.6)	+1,553 (+0.1)	+2.6 -
営業利益 (営業利益率)	15,326 (4.5)	24,192 (6.7)	+8,866 (+2.1)	+57.8 -	25,700 (6.9)	+1,508 (+0.2)	+6.2 -
経常利益 (経常利益率)	16,685 (4.9)	26,150 (7.2)	+9,465 (+2.3)	+56.7 -	27,500 (7.4)	+1,350 (+0.2)	+5.2 -
当期純利益 (当期純利益率)	12,227 (3.6)	19,612 (5.4)	+7,384 (+1.8)	+60.4 -	21,400 (5.7)	+1,788 (+0.3)	+9.1 -
ROE	8.9	12.8	-	-	12%程度	-	-
受注高	372,774	403,110	+30,336	+8.1	365,000	▲38,110	▲9.5

株主還元

配当

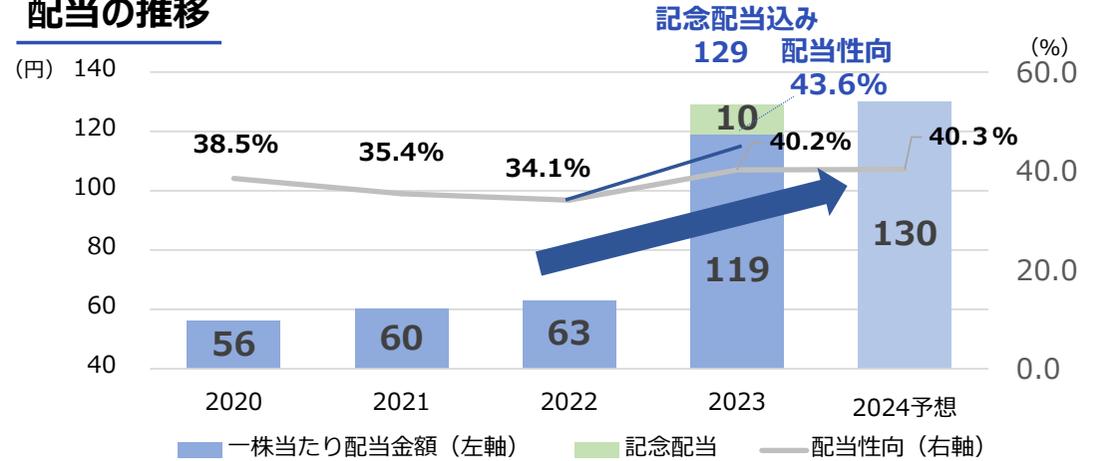
2024年度は、中間配当金65円、期末配当65円の
通期130円を予定

	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 予想
1株当たり 年間配当金	63円	129円 普通配当 119円 記念配当 10円	130円 (中間 65円)
1株当たり 当期純利益	184.69円	295.68円	322.39円
配当性向	34.1%	普通配当 40.2% 記念配当込 43.6%	40.3%

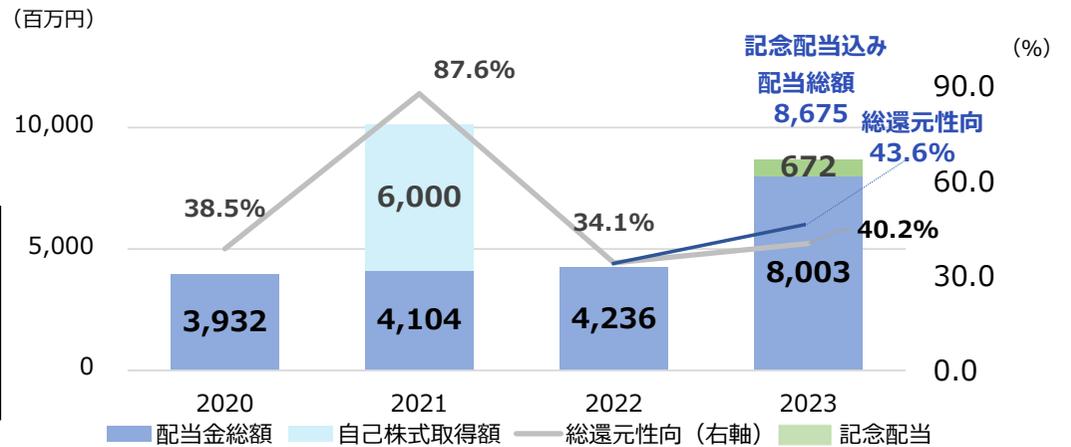
<株主還元に関する基本方針>

財務の健全性や成長に向けた投資とのバランスを勘案した上で、配当による株主還元を基本としています。配当性向40%を目途に持続的な利益成長に応じて配当を増やしていく累進配当とし、自己株式の取得は、中長期的に株主価値を高める観点から、「健全性」と「資本効率」を踏まえつつ、市場環境や資本水準、事業投資機会等を総合的に勘案し、機動的に実施することとしております。

配当の推移



配当金総額・自己株式取得額・総還元性向の実績推移



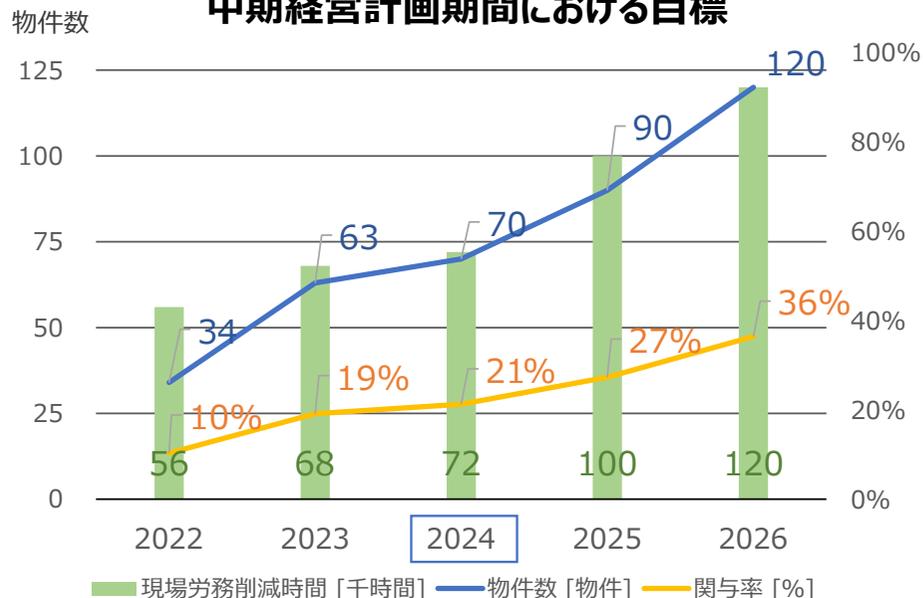
3. 中期経営計画2026の進捗 高砂熱学のサステナビリティの取り組み

環境クリエイター® TakasaGo!

 高砂熱学

中期経営計画の進捗 ～施工プロセスの変革 T-Base®プロジェクトの進捗～

中期経営計画期間における目標



取り組み内容

施工技術の形式知化 施工管理能力向上	標準化・ユニット化・ オフサイト生産による品質向上
<p>■ 実践施工図・施工管理教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物用途に応じた施工図ノウハウを形式知化、7用途 整備展開中 利用者数1Q平均 280名/月 ・集約したノウハウを施工図・施工管理実習を通じて展開・月に1回の全店オンライン教育 ・新入社員を中心に施工管理演習を実施、スキルアップ・T-Base®メニューの浸透を推進 	<p>■ T-Base®メニューの生産効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場への導入・展開促進のため、設計自動化によるリードタイム短縮を検討中 ・生産フェーズの高和会連携へ繋ぐデータ構築 <p>■ 連携サイト・スキームの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マザー工場となるT-Base®に加え、高和会連携サイトを順次拡大し、需要に応える体制を整備 2024年度：3拠点整備中
セントラル生産システム導入による 施工現場のデジタル化	環境貢献・D、E&Iなど 建設業界の未来へ向けた取り組み
<p>■ セントラル生産システム導入拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の物件を中心に社内展開を推進 ・導入・フィードバックを通じたシステムの最適化を継続 ・メーカー・代理店の導入スキーム協議開始 1Q実績 物件数:42物件 メーカー・代理店:195社 ・BIMとの相互データ連携の検証を継続 	<p>■ 建設業界のサステナビリティの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都環境局「令和5年度革新的技術・ビジネス推進プロジェクト」実証事業にて、廃プラスチックのマテリアルリサイクルプロジェクト継続 ・廃プラ由来リターナブル梱包をメーカー協業にて開発中 ・女性・高齢者を含む建設業外の人員の生産従事 50%

T-Base®プロジェクト2024年度KPI（1Q時点での通期見通し）

関与物件数 : 70 物件 (65件:93%)
 現場労務削減時間 : 72,000 時間 (69,700時間 : 97%)
 ユニット生産台数 : 年間 6,000台 (5,088台 : 85%)

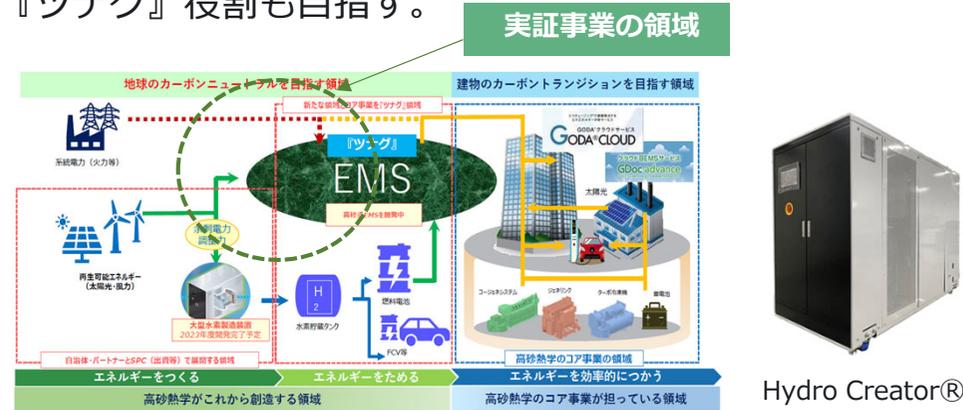
高和会連携サイトの整備を3拠点進行中。
物件数と関与率を増やし、稼働率と効果の拡大を図る

中期経営計画の進捗 ～カーボンニュートラル事業～

経済産業省「令和5年度 分散型エネルギーリソースの更なる活用実証事業」を完了（2024.6.3）

- ・大型産業用蓄電システムと水電解装置「Hydro Creator®」をリソースとして用いた「供給力実証」
- ・大型産業用蓄電システムをリソースとして用いた「調整力実証」を完了

幅広いエネルギーリソースへの対応、更なるDR応動精度向上、サイバーセキュリティ対策等、事業体制の準備を進め、リソースアグリゲーションの社会実装を目指す。お客様が保有するエネルギーリソースも束ね、電力市場と『ツナグ』役割も目指す。



Hydro Creator®

高砂熱学のカーボンニュートラル事業の全体像

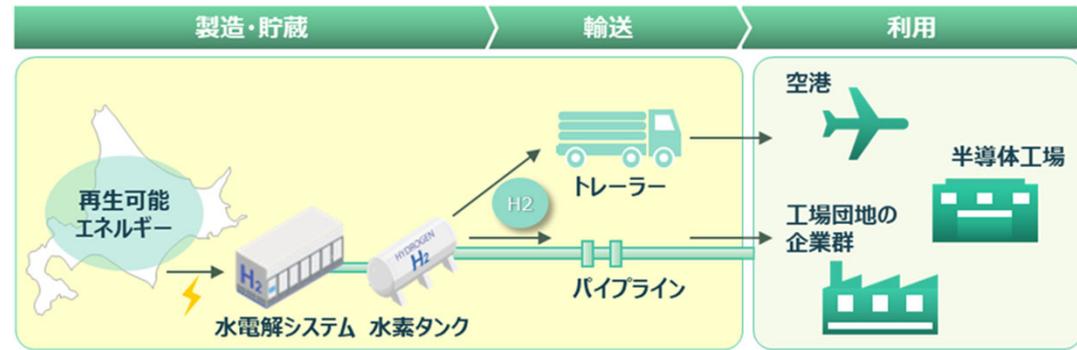
北海道千歳エリアにおけるグリーン水素供給に向けた共同検討について協定締結（2024.6.17）

当社を含む4社※にて、2030年迄の水素拠点構築を目指し、地産地消型のグリーン水素供給に向け、需要家の皆さまのニーズも踏まえ、水素製造・貯蔵サイト候補地の検証や輸送方法など最適な供給方法の検討を進める。

※三菱商事様、北海道電力様、エア・ウォーター北海道様、当社

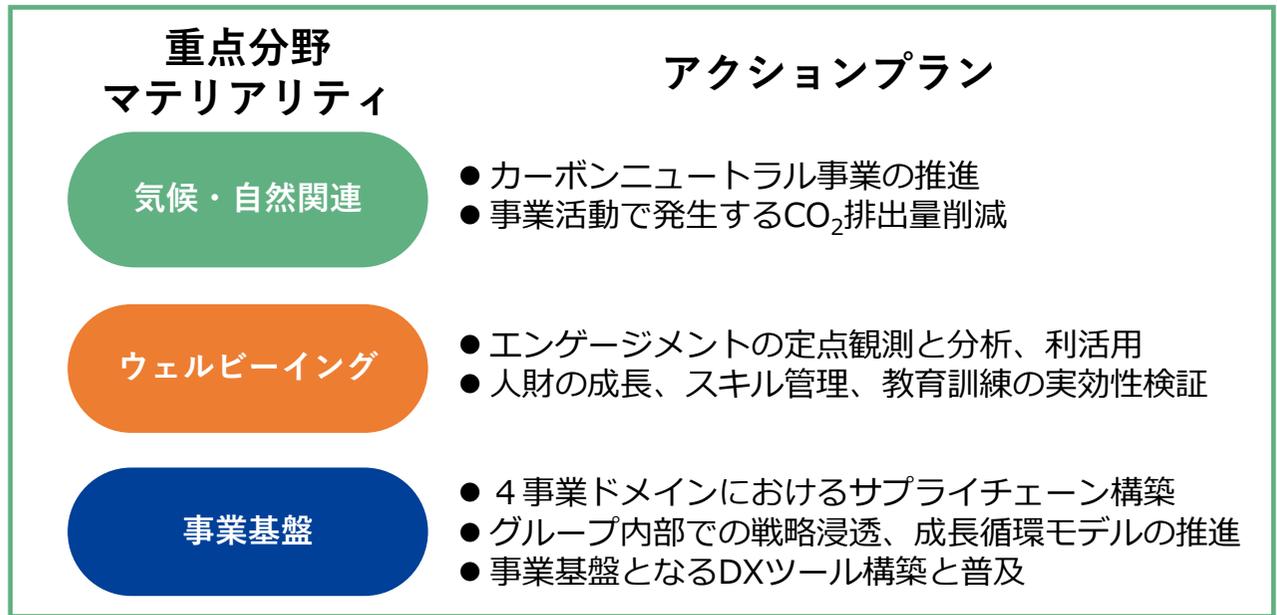
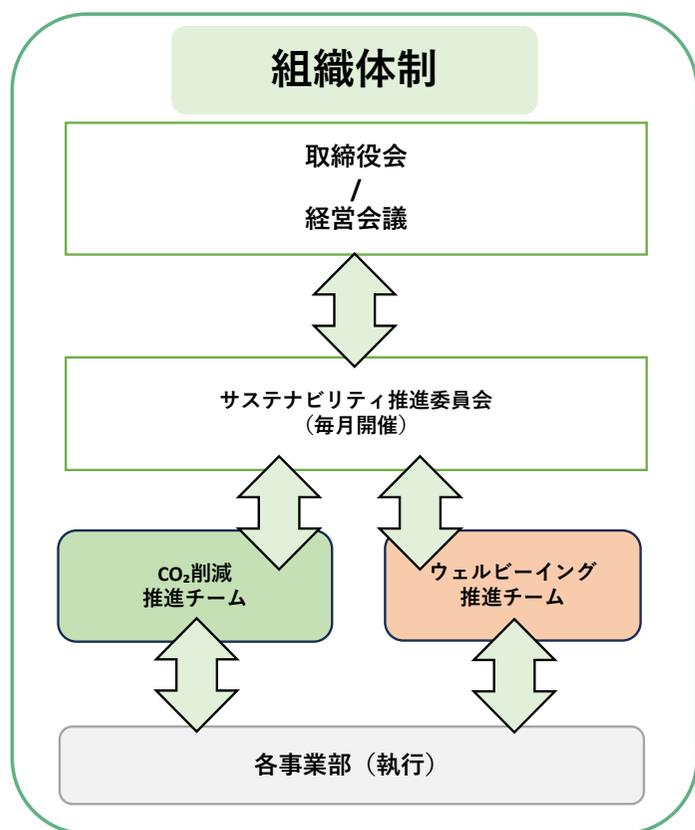
【北海道 千歳エリア】

新千歳空港や工業団地等を有し、さらに次世代半導体の量産製造拠点の立地も決定しており、グリーン水素の活用ニーズが見込まれる。



サステナビリティ推進体制

- ◆ サステナビリティ経営推進に向けて、ESG推進委員会を改め「サステナビリティ推進委員会」を設置。
- ◆ 長期ビジョン2040、中期経営計画2026で掲げる目標実現に直結する「気候関連課題」および「人財がイキイキ活躍できる環境整備」を集中的に進めるため、**CO₂削減チームとウェルビーイング推進チーム**を設置



重要課題特定のプロセス



サステナビリティ関連のトピック（気候・自然関連）

気候・自然関連

ウェルビーイング

事業基盤

◆ SBTイニシアティブから「ネットゼロ目標」の認定を取得

2050年までにバリューチェーン全体で温室効果ガス排出量を実質ゼロにする目標が、科学的根拠を有すると認められ認定を取得

また、2030年度までの同排出量削減目標（短期目標）についても、削減率を引き上げ従前の「2℃未満水準」から「1.5℃水準」を満たす内容として更新認定を取得

◆ 「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」構成銘柄に連続選定

◆ ESG指数「S O M P Oサステナビリティ・インデックス」構成銘柄に連続選定



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index



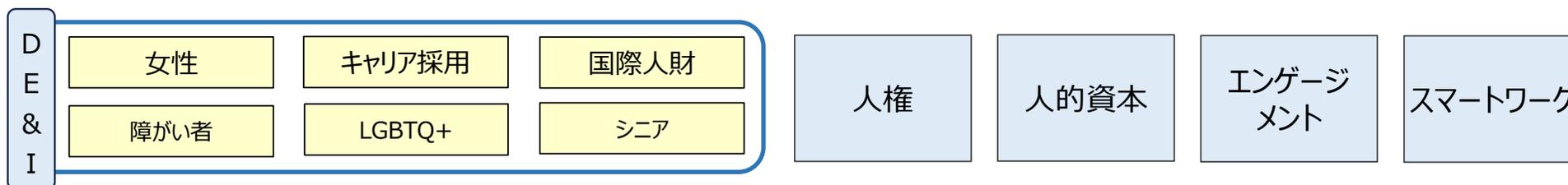
サステナビリティ関連のトピックス（ウェルビーイング）

気候・自然関連

ウェルビーイング

事業基盤

- ◆ 社員がイキイキ・ワクワクと活躍して幸せを感じ、会社成長する状態を目指し、ウェルビーイング推進チームのもとに「ダイバーシティイノベーション(DE&I)」「人権」「人的資本」「エンゲージメント」「スマートワーク」チームを編成



◆ 指標と目標

指標	目標	実績
社員数	2026年度までに220~250名増 ※1	2,230名 ※2
女性管理職比率	2030年頃までに10% 2035年頃までに15%	2.8% ※3
男性育児休職取得率 (1週間以上)	2030年頃までに100%	86.0% ※4

◆ 社員の採用状況

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025 予定 ※5
グローバル	95	87	77	76	85	98	73	133	120
エリア	3	1	0	1	0	0	1	1	1
(内 女性)	3	18	15	27	22	31	29	42	34
(女性比率)	3%	20%	19%	35%	26%	32%	39%	31%	28%
合計	98	88	77	77	85	98	74	134	121

※1 中期経営計画2026KPI ※2 2024年3月31日時点 ※3 2024年4月1日時点の実績 ※4 2023年度の実績 ※5 2024年8月6日時点

サステナビリティ関連のトピックス（ウェルビーイング）

気候・自然関連

ウェルビーイング

事業基盤

◆ 働き方改革の推進・働く社員を支える諸制度の構築（取り組み内容抜粋）

対象	項目	実施内容
業務	施工プロセスの変革	<ul style="list-style-type: none"> ・ オフサイト施工によるフロントローディング ・ セントラル生産体制 ・ ロジスティクスの高度化 他
	デジタルツールの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工管理支援ツールの活用（ペーパーレスに伴う業務効率化）
	サプライチェーン・高和会との関係強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ エクセレントカンパニー制度新設 ・ 支払条件の変更
	現場業務の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内勤社員の業務支援（「絆」プロジェクト） ・ 業務アウトソーシング
	柔軟な働き方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時差出勤、朝礼の当番制 ・ 送り出し教育・新規入場者教育の効率化 ・ それぞれのスタイルに合わせた現場事務所のレイアウト等
	全社最適受注活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国規模での技術員の柔軟な配員体制 ・ 施工体制を勘案した計画的受注活動の展開
制度他	社員の成長支援（研修の拡充）	<ul style="list-style-type: none"> ・ タカサゴ・アカデミーによる教育 ・ サクセッションプランに基づく人材育成の実施
	人材採用活動の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 採用手法の見直し、人事制度の見直し
	健康経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康推進室によるサポート

サステナビリティ関連のトピックス（事業基盤）

気候・自然関連

ウェルビーイング

事業基盤

◆ 2023年度 取締役会の実行性評価結果と2024年度取締役会活動方針 当社ホームページへ掲載

URL : <https://www.tte-net.com/sustainability/pdf/20240619.pdf>

◆ 取締役等の株式報酬制度の継続および一部改定

【主な改訂ポイント】

- ① 信託期間の延長
- ② 取締役等に交付等が行われる当社株式等の数の算定方法
- ③ 当社が拠出する信託金の上限および 1 事業年度あたりのポイントの総数の上限
- ④ 取締役等に対する株式等の交付等の方法および時期
- ⑤ 本信託 による当社株式の取得方法

【改正前(2023年4月時点)】		【改正後】		概要等		
報酬の種類		報酬の種類		概要	KPI:ウェイト	業績連動幅
固定	基本報酬 (60%)	固定	基本報酬 (40%)	役位に応じて決定される 固定・月額報酬	—	—
6 ..	賞与 (20%)	4 ..	賞与 (30%)	単年度業績と中長期 ビジョンの実現に向けた マイルストーン達成へ コミットする報酬	連結経常利益：50% 連結売上高総利益率：20% 個別評価：30%	0%~200%
4	株式報酬 (20%)	6	株式報酬 (30%)	中長期の業績および 企業価値向上に対して コミットする報酬	業績連動報酬：60% 連結経常利益：30% 連結ROE：20% 相対TSR(対TOPIX)：30% CO2排出量：10% 従業員エンゲージメント：10%	0%~200%
変動		変動			業績非連動(株価連動)報酬：40%	—

◆ 支払条件の変更（2024年12月検収分 2025年1月末払い～）

- ① 支払日の変更
- ② 工事関係の支払いにおける現金比率の変更 資本金3億円以下のお取引先への支払は現金100%
- ③ 振込手数料を全額当社が負担

Appendix

中期経営計画（2023年～2026年）の数値目標 （2024年5月14日 目標経営指標の一部見直し）

KGI（2026年度）

収益力の強化

連結経常利益 **300億円**

資本効率の向上

連結ROE **12%程度**

地球環境への貢献

CO₂排出量削減（2022年度対比）

・スコップ1・2…△**16.8%**※1

・スコップ3…△**10.0%**※2

KPI

1. 建設事業を中心とした 収益力強化

- ・受注時利益率の向上および
コスト管理強化により
連結売上総利益率**17.0%以上**

2. 長期的な付加価値に繋がる 事業の構築

- ・グリーンエネルギー供給設備の
社会実装（合計**5,000kW**※3相当）
- ・年間△**15,000t-CO₂**の
カーボントランジション提案

3. 価値創造の源泉となる 人的資本への投資

- ・社員**220～250名**※4増加
- ・プロフェッショナル人財の育成
- ・人事制度改革
上記施策による投資 **150億円**※3増

※1 1.5℃目標を実現するために必要な削減率
※2 上記※1の目標に準じたスコップ3の削減率

※3 中期経営計画対象期間の合計
※4 2026年度末時点での2022年度末対比

受注および販売の状況（単体・子会社別業績）

（単位：百万円、％）

		2022年度1Q	2023年度1Q	2024年度1Q	
		実績	実績	実績	増減率
受注高	単体	94,201	70,152	69,812	▲0.5
	国内子会社	9,621	10,326	9,497	▲8.0
	海外子会社	16,364	8,282	19,884	+140.1
	調整額	1,304	▲397	1,381	－
	合計	121,491	88,363	100,574	+13.8
売上高	単体	52,844	60,552	49,999	▲17.4
	国内子会社	8,324	9,378	9,116	▲2.8
	海外子会社	13,103	10,114	12,913	+27.7
	調整額	▲1,958	▲1,799	▲1,614	－
	合計	72,314	78,246	70,415	▲10.0
連単倍率（売上高）		1.37倍	1.29倍	1.41倍	

受注および販売の状況（連結・事業別）

（単位：百万円、％）

			2022年度1Q		2023年度1Q		2024年度1Q		
			実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	増減率
受注高	設備工事	一般設備	56,060	46.1	43,422	49.1	43,186	42.9	▲0.5
		産業設備	63,839	52.6	43,130	48.8	55,508	55.2	+28.7
	設備機器の製造・販売		1,536	1.3	1,760	2.0	1,815	1.8	+3.1
	その他		54	0.0	49	0.1	63	0.1	+29.1
	合計		121,491	100.0	88,363	100.0	100,574	100.0	+13.8
	(うち海外)		(20,022)	(16.5)	(9,746)	(11.0)	(23,248)	(23.1)	(+138.5)
(うち保守・メンテナンス)		(6,567)	(5.4)	(7,597)	(8.6)	(6,958)	(6.9)	(▲8.4)	
売上高	設備工事	一般設備	31,749	43.9	32,838	42.0	33,497	47.6	+2.0
		産業設備	39,240	54.3	43,828	56.0	35,245	50.1	▲19.6
	設備機器の製造・販売		1,269	1.7	1,530	1.9	1,608	2.2	+5.1
	その他		54	0.1	49	0.1	63	0.1	+29.1
	合計		72,314	100.0	78,246	100.0	70,415	100.0	▲10.0
	(うち海外)		(13,109)	(18.1)	(10,109)	(12.9)	(13,182)	(18.7)	(+30.4)
(うち保守・メンテナンス)		(5,421)	(7.5)	(6,190)	(7.9)	(6,296)	(8.9)	(+1.7)	
繰越高	設備工事	一般設備	169,377	53.2	155,576	49.7	166,034	44.6	+6.7
		産業設備	145,975	45.9	155,023	49.5	202,582	54.7	+30.7
	設備機器の製造・販売		2,711	0.9	2,347	0.8	2,497	0.7	+6.4
	合計		318,064	100.0	312,947	100.0	371,114	100.0	+18.6
	(うち海外)		(52,463)	(16.5)	(59,358)	(19.0)	75,724	20.4	+27.6
	(うち保守・メンテナンス)		(3,055)	(1.0)	(3,264)	(1.0)	(3,162)	(0.9)	(▲3.1)

（注）受注高、売上高および繰越高のセグメント間取引については、相殺消去している。

四半期別受注・売上実績（連結）

（単位：億円、％）

		受注					売上				
		2023年度		2024年度		増減率	2023年度		2024年度		増減率
		四半期	累計	四半期	累計		四半期	累計	四半期	累計	
1Q	設備工事業	865	865	986	986	+14.0	766	766	687	687	▲10.3
	一般設備	434	434	431	431	▲0.5	328	328	334	334	+2.0
	産業設備	431	431	555	555	+28.7	438	438	352	352	▲19.6
	設備機器の製造・販売事業	17	17	18	18	+3.1	15	15	16	16	+5.1
	その他	0	0	0	0	+29.1	0	0	0	0	+29.1
	合計	883	883	1,005	1,005	+13.8	782	782	704	704	▲10.0
	(うち海外)	(97)	(97)	(232)	(232)	(+138.5)	(101)	(101)	(131)	(131)	(+30.4)
	(うち保守・メンテナンス)	(75)	(75)	(69)	(69)	(▲8.4)	(61)	(61)	(62)	(62)	(+1.7)
2Q	設備工事業	717	1,582				840	1,607			
	一般設備	325	759				374	702			
	産業設備	391	822				465	904			
	設備機器の製造・販売事業	26	44				20	36			
	その他	0	0				0	0			
	合計	743	1,627				861	1,643			
	(うち海外)	(163)	(260)				(133)	(234)			
	(うち保守・メンテナンス)	(67)	(143)				(68)	(130)			
3Q	設備工事業	1,196	2,778				971	2,578			
	一般設備	508	1,267				435	1,137			
	産業設備	689	1,511				537	1,441			
	設備機器の製造・販売事業	15	59				21	57			
	その他	0	0				0	0			
	合計	1,211	2,838				994	2,637			
	(うち海外)	(114)	(374)				(147)	(381)			
	(うち保守・メンテナンス)	(86)	(229)				(81)	(211)			
4Q	設備工事業	1,172	3,950				976	3,554			
	一般設備	482	1,749				482	1,619			
	産業設備	690	2,201				493	1,935			
	設備機器の製造・販売事業	20	79				20	77			
	その他	0	0				0	0			
	合計	1,192	4,031				996	3,633			
	(うち海外)	(273)	(647)				(207)	(588)			
	(うち保守・メンテナンス)	(81)	(311)				(93)	(304)			

業績サマリー（個別）

(単位：百万円、%)

	2022年度1Q	2023年度1Q	2024年度1Q		
	実績	実績	実績	増減	増減率
売上高	52,844	60,552	49,999	+10,553	▲17.4
売上総利益 (売上総利益率)	4,735 (9.0)	7,337 (12.1)	7,153 (14.3)	▲184 (+2.2)	▲2.5 -
営業利益 (営業利益率)	▲372 (▲0.7)	2,315 (3.8)	1,439 (2.9)	▲876 (▲0.9)	▲37.8 -
経常利益 (経常利益率)	649 (1.2)	3,690 (6.1)	3,103 (6.2)	▲587 (+0.1)	▲15.9 -
四半期純利益 (四半期純利益率)	367 (0.7)	2,758 (4.6)	2,623 (5.2)	▲135 (+0.6)	▲4.9 -
受注高	94,201	70,152	69,812	▲340	▲0.5
繰越高	263,817	252,057	294,787	+42,730	+17.0

工事種類別受注・完成工事高（個別）

工事種類別受注工事高（個別）

（単位：億円、％）

		2022年度			2023年度			2024年度		
		1Q	通期	通期 構成比	1Q	通期	通期 構成比	1Q	1Q 構成比	前期 増減率
合 計		942	2,641	100.0%	701	3,011	100.0%	698	100.0%	▲0.5
一般設備・ 産業設備	一般設備	500	1,324	50.1%	366	1,445	48.0%	373	53.5%	+1.8
	産業設備	441	1,316	49.9%	334	1,566	52.0%	324	46.5%	▲3.0
新築・ リニューアル	新築	494	1,197	45.3%	213	1,396	46.4%	283	40.6%	+32.9
	リニューアル	447	1,444	54.7%	488	1,614	53.6%	414	59.4%	▲15.2

工事種類別完成工事高（個別）

（単位：億円、％）

		2022年度			2023年度			2024年度		
		1Q	通期	通期 構成比	1Q	通期	通期 構成比	1Q	1Q 構成比	前期 増減率
合 計		528	2,441	100.0%	605	2,686	100.0%	499	100.0%	▲17.5
一般設備・ 産業設備	一般設備	267	1,329	54.5%	268	1,332	49.6%	276	55.3%	+3.2
	産業設備	261	1,111	45.5%	337	1,354	50.4%	223	44.7%	▲33.8
新築・ リニューアル	新築	241	1,063	43.6%	348	1,332	49.6%	206	41.3%	▲40.8
	リニューアル	287	1,377	56.4%	256	1,354	50.4%	293	58.7%	+14.4

将来予測に関する注意事項

この資料に掲載してある将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

このため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更される可能性がありますので、あらかじめ御了承ください。

IRに関するお問い合わせ先

高砂熱学工業株式会社

財務・IR統括部 コーポレート・コミュニケーション室 中村、石田、子安

〒160-0022 東京都新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイドスクエア12階

TEL : 03-6369-8215 FAX : 03-6369-9103

メールアドレス : isao_Nakamura@tte-net.com

hiroshi_ishida@tte-net.com naoto_koyasu@tte-net.com